

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 税理士法人あさひ会計

山形市にある税理士法人あさひ会計の渡部竜次さんと渡邊沙瑛子さん取材しました！  
竜次さんは山形大学人文学部を卒業後 2017 年に入社し、現在は経営支援 DX 部で勤務  
しています。沙瑛子さんは山形大学人文学部を卒業後 2015 年に入社し、現在は経営支  
援 2 部で勤務しています。

### (1) 仕事内容編

———現在の仕事内容について教えてください。



(沙瑛子さん) 私たちは会計事務所としての仕事をしています。お客様を訪問して、会社の成績を表す試算表の作成をしています。訪問した際に、お客様と面談して悩み事などのご相談にアドバイスをすることもあります。また、会社には 1 年に 1 度、決算※というものがあ  
り、書類を作成して納税額を計算します。

(竜次さん) 仕事内容は渡邊さんとほぼ同じです。ただ、会計事務所というとパソコンで作業しているイメージがあると思いますが、実際は席にいないことが多いですね。お客様を訪問して「今月の売上はどうでした？」と現状を確認したり、助成金の情報があれば紹介したり、決算が近づくと「税額が高くなりそうだけど、どうしたらいい？」といった相談を受けたりしますので、経営者とお話するのが仕事という部分があります。経営者は自社の社員にはなかなか話せない悩みがありますので、それをうまく聞き出して対応するのも仕事です。

※決算：1 年間の収益や現時点での資産や負債などを計算して、財務状況を明らかにすること。

——お二人は税理士の資格をお持ちなのですか？

(竜次さん) 私は、税理士ではありません。会計事務所には税理士資格を持っている人はそれほど多くないのかなと思います。税理士法人の職員として、税理士の仕事のうち資格を必要としない業務を行っているという感じです。渡邊さんは税理士試験を受けているところですよ。



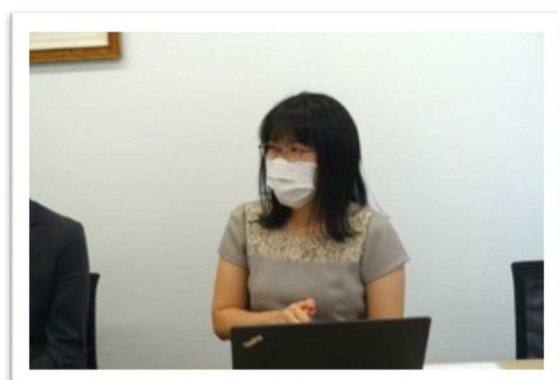
——税理士資格を取る方とそうでない方がいるのはどうしてですか？

(沙瑛子さん) 会計と一口に言っても、税法はすごく多岐に渡っていて、本当にいろいろな専門分野があります。私は勉強の一環として、税理士資格を取りたいと思いました。仕事のためにいろいろな勉強をしていく延長で、税理士試験を受けています。

(竜次さん) 私が税理士資格を取らなくてもよいと思ったのは、正直に言うと難易度が高いからです。独学では難しいですし、大学院に入る余裕もないので。それに私の上司は資格を持っていませんが、税理士と同じようにお客様から信頼されています。資格を持っていなくてもお客様に信頼されるクオリティの業務ができれば、資格の有無はあまり関係ないと思っているので、資格の取得にはこだわっていません。

——もし税理士資格を取りたいというときには、会社からの支援はあるのですか？

(沙瑛子さん) そうですね。金銭的な支援ではありませんが、土日に事務所の会議室などを利用して勉強してもよいという制度があります。それに試験前には、有給休暇とは別に 1 週間程度の特別休暇がとれる制度があります。



——仕事のやりがいを教えてください。

(沙瑛子さん) 入社当時、代表の柴田が「社長の参謀役になる仕事です」と言っていたことがとても印象に残っています。実際そのとおりで、顧客企業の社長には他の人に相談できないことがたくさんあります。例えば銀行員さんも会社に訪問しますが、銀行からお金を借りている関係上、自社のすべてをさらけ出すことはできない相手です。そういった中で、私たちが社長にとって一番相談できる相手になれるのではないかなと思っています。

選択肢がたくさんある中で、会社がどういう選択をするかを決めなければいけない場面が多々あります。選択肢には、会社にとって有利な方法も不利な方法もありますので、その会社にとって何がより良い方法なのかを常々考えて、社長にアドバイスをしたりお話を聞いたりしています。時には社長に厳しいことや「それはダメですよ」と言わなければなりません。が、「あの時言ってもらえてよかった」と言ってもらえることがやりがいになっています。

(竜次さん) 会計事務所で働く人は皆そうだと思いますが、お客様からお礼を言われることが一番のやりがいだと思います。

会計事務所の職員は経営アドバイスをしますが、「こうしてください」とは言えません。あくまで経営判断をするのは社長です。私たちは社長が判断をする上での選択肢をいくつか提示したり、後は悩みを聞いたりすることしかできません。その中で社長の決断の一助になってうまくいったときに、社長から「あのときはありがとうね」と言われると、やっていてよかったなと感じます。

——お客様からの信頼を獲得することが大事だと思いますが、その点で気を付けていることはありますか。

(竜次さん) 一番に気を付けているのはレスポンスを早くすることですね。「これってどうなの？」とメール等で聞かれたときに、文面から何を聞かれているのかを読み取って、すぐに返答します。中にはインターネットで調べれば分かりそうな質問が来ることもありますが、すぐに答えて信頼を得ることが大事です。

(沙瑛子さん) 私も早く回答することは、気を付けています。私たちは毎月訪問するお客様だけでもだいたい10社~15社くらいの担当を持っていますので、スケジュール調整が難しいところもありますが、社長の気持ちとしてはそのことがすごく気になってソワソワしている状況です。しっかり調べた上で、できる限り早く正確に回答することを心掛けています。

——仕事をしているときに、大変だなと思うことがあれば教えてください。

(沙瑛子さん) お客様から相談を受けることには、本に載っているようなスッキリした事例は無く、いろいろな事情が複雑に絡み合っているのです、その事情の中で考えるのはすごく大変です。お客様と話をして、なかなか納得してもらえないこともありますし、場合によってはお客様から厳しいことを言われることもあります。私の伝え方が良くない部分もありますが、お客様にはお客様の考えがありますので、どういうふうにお客様に伝えたらよいか、悩む部分ではありますね。

(竜次さん) 経営者には、会計にすごく詳しい方もいれば、そうではない方もいます。なるべくお客様の意向に沿うような形にはしたいのですが、お客様がやりたいことと税法的にやっていたいことの折り合いをつけなければいけませんので、そこを調整するのが大変です。

また、繁忙期はもう「超」繁忙期ですので、この乗り越え方が大変だと思います。年末調整の時期、確定申告の時期、そして3月決算の法人のお客様が多いのでその決算時期です。納期を過ぎると延滞税がかかってしまったり、税制が利用できなくなってしまうので、私たち会計事務所の職員は納期を意識して仕事をしなければなりません。

——繁忙期は、具体的にはどんな感じですか。

(竜次さん) 恐らく、皆さんの想像の3倍くらい忙しいと思います。

お客様あっての仕事ですので、こちらで仕事を進めたくてもお客様からの資料が揃わなかったり、資料がどっと来たのに一日で終わらせなければいけなかったり。超繁忙期は、帰りが遅いときは22時を過ぎることも少なくありません。ただその時期が過ぎると閑散期になってみんな定時で帰りますので、メリハリがある感じです。

——大変なときに仕事のモチベーションをどう維持していますか。

(沙瑛子さん)自分でいうのもあれですが、私は結構仕事人間で(笑)。仕事のことを考えてもあまり苦にならないタイプです。

(竜次さん)朝礼の一環で「Good & News」という、その日の担当の人が24時間以内にあった良かったことや新しいことを発表する場があります。朝に宣言して、一日前向きな気持ちで頑張りましょうというものです。辛い時期であってもその発表を聞いていると、「みんな前向きに楽しく頑張っているのに自分は一体何をやっているんだろう…？」と思うようになるので、それでモチベーションを持ち直しています。頑張っています(笑)。

## (2) 職場編

——会計事務所という仕事を選んだ理由を教えてください。

(沙瑛子さん)私はもともと数学が好きで、会計や簿記を学生の頃から勉強していて好きだなと思っていました。お金に絡む話が好きなので(笑)、お金に関係するような仕事がしてみたいと思っていました。

多くの会計事務所はあまり新卒を採用していないこともあって、最初、会計事務所は目に入ってきませんでした。就職活動をする中で数字を使う仕事、お金に関係する仕事として会計事務所を知って、この業界に落ち着きました。



(竜次さん)就職活動をするまで、自分が何をしたいのか、まったく考えていませんでした。学生の頃は無駄に自己評価が高くて、「自力で生きてやるぜ」という気持ちがあったのですが、実際に会社説明会を回っているうちに、これまでも自力だけで生きているわけではなく、いろいろな企業があって支えられて生きてきたと実感しました。

そのことに対して自分はどう還元していこうかと考えたとき、間接的ではありますが、この仕事はいろいろな企業と接することができるというのを聞いて、会計事務所に入りました。

——あさひ会計に決めた理由はありますか。

(沙瑛子さん)決め手は役員面接でした。他社に面接に行ったときに、役員の中には高圧的な態度を取る人もいたのですが、あさひ会計にはそういう方が誰もいなくて、自分の話をしっかり聞いてもらえました。「この会社は、ちゃんと自分の意見を聞いてもらえる」と思ったのが決め手でした。

——実際に入社してみて、ギャップはありませんでしたか。

(沙瑛子さん)当社はすごく風通しが良くて、和気あいあいとしています。代表との距離感は近いですし、自分が思ったことは言える環境だと思います。

実際、入社3年目にお客様とトラブルになりかけたときに、代表が親身になって話を聞いてくれました。普段、上司と話している中でも結構自分の意見を言っていますので、発言しやすい雰囲気があると思いますね。

——渡部さんは会社の雰囲気はどう感じますか？

(竜次さん)人間関係は良好だと思います。皆さん仲良しですね。仕事終わりにみんなでフットサルやバスケットに行ったりする人もいます。私は運動が苦手なので参加しませんが……。



——プライベートでお客様と一緒にゴルフをしたり、そういったことはあるのでしょうか。

(沙瑛子さん)そういった接待のようなことは基本的にないですね。たまに、普段お世話になっているからとお客様の忘年会に呼ばれたり、本当にたまに社長と「ちょっとご飯に行こうか」と言われて食事に行くことはありますが。

(竜次さん) お客様のバーベキューに呼ばれたりもします！

(沙瑛子さん)社員みたいに身近な存在と思ってもらえているのかなと思います。割と社内行事に呼んでもらえることがあります。もちろん強制参加ではなく、都合がつけば、という感じですね。

——入社して6~8年経つと思いますが、社会人になって変わったことがあれば教えてください。

(竜次さん) 責任の重さが変わります。大学生のうちには何か失敗してもだいたい大丈夫ですが、仕事では失敗が絶対に許されない場面もあるので、責任の重さが違います。あとは私の場合、あまちゃん生きてきたので社会の厳しさを学んだと思います。



(沙瑛子さん) お金を稼ぐ大変さを知りました。楽しいことばかりではないし、どの仕事もそうだと思いますが、仕事をする中でつらいことも結構あると思います。渡部さんも言っていますが、やっぱり責任が伴ってくるのは、社会人になって変わったことだと思います。ただ逆に言えば、自分でお金を稼ぐようになったので、自分が何にお金を使うかという点では、学生の頃と比べるとかなり自由度が上がりました。

——会社に入って勉強しなければならないことはたくさんあったのですか。

(竜次さん) そうですね。勉強しなければいけないことは山ほどあります。私は大学で法律コースだったので簿記や会計に関する知識がなく、入社当時は経済学部出身の同期との差を感じました。知識がないと実務ができないので新人研修で勉強したり、あと月1回くらい全体研修があるのでそこで知識を吸収しています。

それから税法ですね。私たちが使っている税法は生き物だと言われるくらい日々変化するので、常にアンテナを立てています。私は今まで教えてもらっていた側なので、最近是自己から情報を発信することに意識を向けています。



——税法の知識はどのように得ているのですか。

(竜次さん) 税制改正があると、大綱が出ますのでそれを読みますね。従来の税法は社内にとくさんある書籍を読んだり、経験のある人に聞いたりします。

——大学時代に取った資格が役に立ったということはあるですか。

(沙瑛子さん) 簿記は仕事に直結しているので、役に立った部分はあります。ただ、勉強の中の会計と実務の会計は別物だと思っていて、簿記をやっていたから全部できるわけではなく、勉強しなければならないのは皆同じだと思います。私もまだまだ分からないことだらけで、お客様から質問を受けていろいろ調べて知ることばかりです。



——社内は風通しの良い環境とおっしゃっていましたが、社内行事はあったりするのでしょうか。

(竜次さん) 私は入社1年目に社員旅行でイタリアに行きました。その前はシンガポールでしたね。国外旅行と国内旅行があって、選べます。

(沙瑛子さん) 2年に1回社内旅行があります。コロナで、今はちょっと行けていませんが。私は国内派で、北海道に行きました。やっぱり日本に勝る所はないです！

——社員旅行にはほぼ全員参加するのですか。

(総務の石川さん) 国内・国外のいずれかに参加しています。お子さんが小さいなどでなかなか旅行が難しいという人には、市内での食事会があります。

社員旅行は社員同士の親睦を深めるためにしています。仕事だけだとなかなか人となりが見えませんが、今はコロナで全体での社内行事があまりできていませんが、それまでは芋煮会もあって、芋煮会と社員旅行を交互にしていました。他にも、歓迎会、忘年会、確定申告の打ち上げなど、年に数回は全社的なイベントを開催して、親睦を深めていました

このような状況ですが、最近はようやくチームごとに食事会をやるようになりました。

——福利厚生について、子育てに関する制度の利用はいかがでしょうか。

(竜次さん) ちょうど10月から2ヶ月育休を取ります。これまで当社では、男性の育休取得は1週間とか短いものが多かったので、長期間の取得は私が初めてです。

——育休を取ろうと考えた経緯について教えてください。

(竜次さん) 育休を取得するにあたってはいろいろ考えました。妻の希望もありましたが、取得の期間は退職金や賞与の算定期間に影響しますし、同期と差がつくのも気になりました。会計事務所の2か月のブランクは結構大きいので、仕事を空けていいのかも悩みました。

初めての子どもですが、私はなんとなく女性は育児が分かっているものだと勝手に思っていたところがありました。ですが実際は、夫婦ともお互い初心者です。私は妊娠を代わってあげることもできませんし、「出産は全治3か月くらいの交通事故と同じなので出産後は回復に専念したほうがいい」と学びました。それで私も仕事との折り合いをつけて、妻の退院と同時に私が仕事を休んで、妻にはその間身体を休めてもらおうと思い、育休を取ることに踏み切りました。

(総務の石川さん) 渡部さんが取得してくれることで、この先、数日の休暇ではなく長期間の育休を取得する男性社員が続けば良いなと私は思っています。渡部さんはもちろん周りも大変なものはありますが、みんなで頑張って育休者をフォローできるような体制を作れたら、よりよい会社になるのではと思っています。



※なお、取材後に竜次さんは予定通り 2 か月育休を取得し、現在は復帰しています。

### (3) ある日の過ごし方編

(竜次さん)

#### ●8:30 【出社】

社内、周辺の清掃をします。

#### ●8:45 【チームで朝礼】

今日の予定の共有と Good & News※

※一日のスタートを明るく迎えるために、担当者が24時間以内にあったよかったことや、新しいことを発表します。



#### ●9:00 【情報収集】

飲み物を淹れ、社内の回覧物や新聞を読んで、新しい助成金や税法の改正等がないか等をチェック。

#### ●9:20 【移動】

顧問先へ訪問するために車で移動。今日は東根のお客様でした。

#### ●10:00 【会計業務開始】

到着後、資料をもとに会計ソフトへの入力、チェック

#### ●11:20 【社長へ報告】

当月の経營業況を顧問先の社長へ報告。助成金のご案内や節税の相談なども行います。話がそれて世間話になったり、盛り上がり熱い話になることも。

●12：00【昼食】

至福の時間。

いろいろな地域のお客様を訪問するため、行く先々で楽しんでいます。

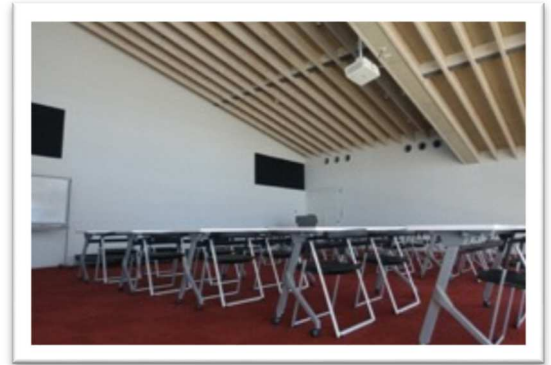
日によっては、訪問先の社長と食事を共にすることもあります。

●13：00【移動】

事務所へ移動。

●13：40【帰社】

一息ついたら、次の予定の準備。



●14：00【セミナー】

自社でセミナーを実施。会計のセミナーはもちろん、最近は DX のセミナーも担当しています。

●16：00【上司へ報告】

自席に戻り、訪問先の報告事項をまとめて上司へと報告。

●16：15【翌日の訪問の準備】

会計ソフトへの入力や、お渡しする資料をまとめます。

●17：15【退勤】

最近、ジムに通い始めました。

料理、食事が好きなので、早く帰って料理に時間をかけています。

(沙瑛子さん)

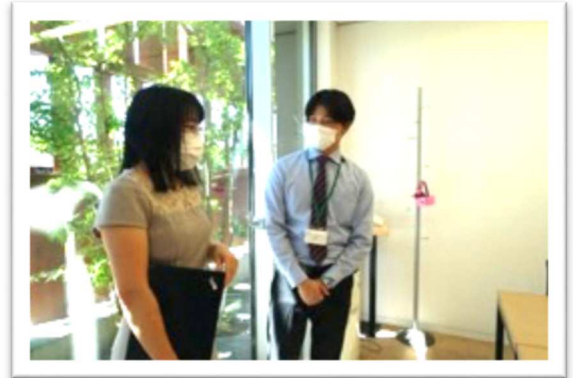
●8:30【**出社**】

社内・会社周辺を清掃後、チームごとに朝礼を行います。

●9:00【**業務開始**】

事務所で会計データのチェック。

お客様へ確認しなければいけないこと、申告時に注意しなければならないことなどをピックアップし、記録をつけます。



●12:00【**お昼休憩**】

自席または共用のテーブルで同僚と談笑しながら、お昼休憩をとっています。

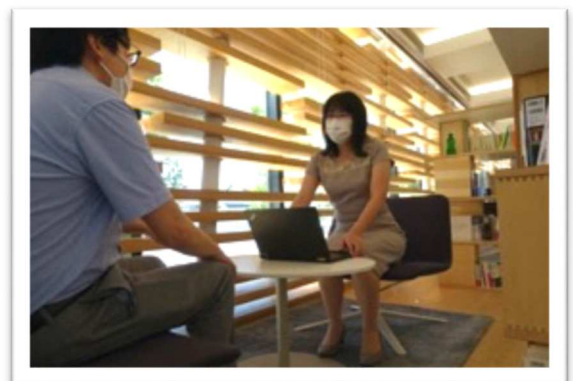
●13:00【**打ち合わせ**】

お客様のところに訪問し、不明点の確認を行います。

会計処理について修正事項があれば修正し、試算表が確定したあと、その試算表をもとに社長と打ち合わせを行います。

●17:15【**退勤**】

退勤後は、税理士試験の勉強をしたり、趣味の時間にあてています。



#### (4) むらやまでの暮らし編

——就職にあたって地元の山形県を選んだ理由を教えてください。

(沙瑛子さん) 私は勤務地にあまりこだわりはなくて、東京でも就職活動をしていました。どちらかというところ、どういう仕事がしたいかをメインに考えていたので、「山形じゃなきゃダメ」というのはなかったです。最終的に働きたいと思ったのが、山形の会社でした。

(竜次さん) 単純に田舎が好きでした(笑)。東京にも行きましたが、みんな急いでいて、常に何かと戦っているような感じがして。山形は自然も豊かですし、食べ物も美味しい。現代だと働く場所が関係なくて、家の中にいながら東京の仕事ができます。私は米沢出身で、地元の山形が好きなので、それ以上の理由はいらないと思います。



——山形の「ここが好き」というところがあれば教えてください。

(沙瑛子さん) 食べ物がおいしいのは山形のいいところだなと思います。仕事の関係で県外の方がいらっしゃったときに、「お米がおいしい」と言われて、山形県はなんでも美味しいんだなと思いましたね。

(竜次さん) 私もやっぱり食べ物がおいしいところですね。それから、みんなのんびりしているところですかね。あんまり息苦しくないし、スペースが広いというか。逆に言えば、何もないんですが(笑)。

——**休日の過ごし方としては、基本的に資格等の勉強をする時間が多くなるのでしょうか。**

(沙瑛子さん) 税理士試験は8月にありますが、土日もずっと勉強しっぱなしということはありません。勉強をするときは2、3時間やりますが、趣味などのリフレッシュする時間も作ってメリハリをつけています。仕事をしていく中でストレスも結構ありますので、リフレッシュする時間は大事にしています。

(竜次さん) 土日はプライベートにあてて、完全にオフにしていますので勉強はしていません。ですが普通に生活していても、買い物で「あ、ここお客様のところだ」などと思ったり、テレビを見ていると税制改正や助成金情報が自然に耳に入ってきてしまいます。自分の中で常にアンテナが立っていると思います。

——**オフのときはどう過ごしていますか？**

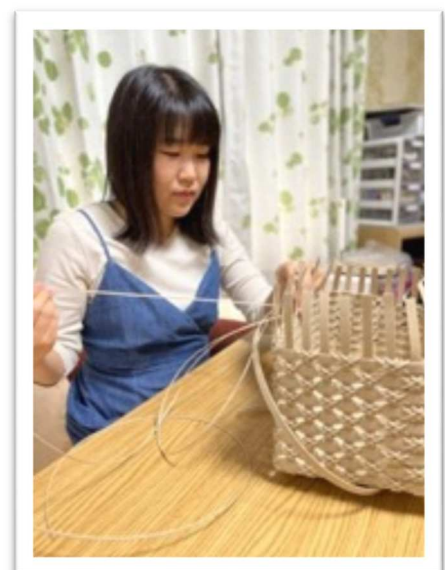
(竜次さん) 私は料理が趣味なので、お菓子作りとかですね。あと、渡邊さんも私も、手芸が趣味です(笑)。

(沙瑛子さん) 私がよくやるのは、布をミシンで縫ったりとか、エコクラフトといって紙の素材でバッグを作ったりとか。割となんでもやります。

(竜次さん) 私はつまみ細工や水引でアクセサリを作るような小物関係をちよくちよくやります。

——**社内にそういう手芸サークルがあるのですか？**

(二人) いやいや違います(笑)。





——作ったものを販売したいと思ったら、会社として副業は大丈夫ですか？

(竜次さん) 当社では、副業は業務に関係あることであれば認められます。手芸作品は趣味で作っているだけなので、姪っ子にあげたりしています。

——学生の頃と比べて、趣味やプライベートの時間はうまく取れていますか？

(竜次さん) 繁忙期とそうでない時期がはっきりしている会社なので、普段は定時で退社して、土日も時間はとれる感じです。学生時代にたくさんバイトをしていたときよりは時間的には余裕があると感じています。

(沙瑛子さん) 私は、平日は疲れちゃってあまり動けないんですが、土日は結構自由に時間を使っています。学生時代とあまり変わらないですね。

——繁忙期と閑散期があるとのことですが、有給休暇を取る場合は閑散期に合わせてという感じですか。

(沙瑛子さん) 有休については、かなり自由に取れる会社です。繁忙期であっても、自分のスケジュールに余裕があれば自由に取れます。明日は手が空いているなどと思えば、「明日有休取ります」とか「今日の午後取ります」とか。自分のスケジュールさえ都合がつけば、大丈夫です。

(竜次さん) 自分とお客様との間でスケジュールを調整しますので、例えば来月に休みたい日があれば、そこにお客様との予定を入れないように調整できるので、有休はだいぶ使いやすと思います。私も 100%消化しています。

(沙瑛子さん) 人によっては、2週間ぐらい有休を取る人もいます。

## (5) まとめ編

### ——今後の目標はありますか？

(竜次さん) 私は6年目といっても会計事務所ではまだ若手なので、税法や会社法の知識といった基礎をまずは固めていきたいと考えています。今は縁があってDX※に携わってセミナーを実施しているので、これからもっとそちらに力を入れて、今のすべての経理業務を過去にしていけたらいいと思っています。



(沙瑛子さん) 目標は税理士資格を取ることです。働きながら勉強することは結構大変でくじけそうになりますが、社内に税理士を目指している方が結構いるので励みになって、また頑張ろうと思えます。会計業務は専門分野が多岐にわたりますのでオールラウンダーもいいとは思いますが、私は「これを聞かれたら誰にも負けない」という得意分野を確立していきたいと思っています。

※DX：デジタル・トランスフォーメーション。デジタル技術の活用により製品・サービスやビジネスモデルを変化させること。

——「すべての経理業務を過去に」というのは、経理業務はこれから大きく変わるということですか。

(竜次さん) そうですね。昔はほぼ手書きで伝票に書いていましたが、エクセルに打ち込むようになって、会計ソフトに入力する形になりました。今は、銀行から送られてきたデータをそのまま会計ソフトに取り込むことができるようになったりと、日々経理業務は変わってきています。これからの時代は、誰が入力しても結果が同じになるような経理業務は自動化して、経理担当者には経験を活かしたもっと付加価値のある仕事をしてもらおうという方向にシフトしていくのではないかと考えています。

——就活生に向けてメッセージをお願いします。

(竜次さん) いろいろな企業を見て回ってください。仕事は、人生の大半の時間を占めるものです。働かなくてもお金が入ってくれば一番いいのですが、なかなかそういうわけにはいきません。人生の大半を占める仕事において、自分がどういうことを大切にするか、就職活動を利用して考えてもらうといいのかなと思います。給料が良くても人間関係で辞めてしまう方もいますし、逆に、どんな環境でも給料さえよければやっていけるような方もいますから。もし山形が好きという方がいれば、今は山形を拠点に全国を盛り上げるような仕事ができるので、ぜひ山形で一緒に盛り上げていけたらいいなと思います。

(沙瑛子さん) 私も同じで、いろいろな企業を見たほうがいいと思います。私はたまたま視野を広げてみたときに、当社に出会いました。

就職活動では自分が何をしたいかがいまひとつ分からなくて、漠然と「山形にいて文系だと銀行員かな」と思って受けに行ったり、給与面が良いと聞いて医薬品メーカーの営業職を受けたりしました。説明会はいろいろな業種を聞きに行きましたね。その中で、自分がやりたいことと適性があることは別だと思ったこと、自分がもっていた会社のイメージと実際に社員がやっている仕事内容が違うなと思うこともありました。自分の中のイメージに囚われないで、まず話だけでも聞いてみる、行動してみる方がいいと思います。

——就職活動をするにあたって、勉強しておいたほうが良い資格などはありますか。

(沙瑛子さん) 自分が興味のあることがいいと思います。他人受けを気にするのではなく、どういうことを勉強したいのかで良いと思います。私は、簿記とファイナンシャルプランナーの資格を取りましたが、就職用というよりも単純にお金に興味があって、自分の生活に役立つと思って取った資格です。

(竜次さん) 明確な目標があれば、それに関する資格を勉強するといいいと思いますが、今は目指すものがないのであれば、就職活動受けを狙うのではなく、自分がちょっと気になるものでいいので勉強してみると、自分のためになるかなと思います。就職活動が終わったらゴールというわけではないので。

(沙瑛子さん) 社会人になって思うことは、学生の頃が一番時間があったということです。学生の今だから思いっきり勉強できることはあると思うので、やるんだっただけで若いうちにチャレンジしてみると良いと思います。

——**学生時代に何かに打ち込んでおいた方がよいということですね。**

(沙瑛子さん) 私は学生時代、結構無駄に時間を過ごしてしまったという印象が強くて、今思えば貴重な時間だったと思います。これに打ち込んだ！と自慢できることがないので、もっとやっておけばよかったと思っています。

(竜次さん) 私は法律コースに入ったものの、法律に興味を持てなくて勉強したくないという状態でしたが、そんな中で唯一、法哲学だけは面白いと思ってどっぷりハマってしまいました。学生生活の中で、何か一つでも自分の気になることを見つけられるだけで万々歳だと思っています。

——**ありがとうございました！**

今回の企業取材を通して、学生時代を有意義に過ごすことの大切さに気付かされました。自分のやりたいことが明確になっていなくても、少し興味のあるものや、好きなこと、熱中できることを探し突き詰めることで、将来の糧になるのだなと感じました。時間は有限なため、瞬間瞬間を大切に、将来のために悔いの残らない大学生活を送っていこうと思いました。



【インタビュアー：

山形大学人文社会科学部 和田佳、砂押歆、岩崎瑛里】

## 税理士法人あさひ会計

---

★【東北最大級の会計事務所】常に変化を求め、成長し続ける企業です！

「私たちは、質の高い仕事を通じ、お客様の継続・発展に貢献します。」というミッションの元、スタッフ全員が得意分野、専門分野を持ってサービスを提供し、お客様に感謝されることで自身が成長できる仕事です。

- ・所在地 山形県山形市東原町2丁目1-27
- ・設立 平成23年7月
- ・従業員数 113名（男性58名、女性55名）
- ・事業内容 税務・会計、各種相談
- ・URL <https://asahi.gr.jp/>

